

## ときわっこ通信 3号 『“みんなでみんなが育ち合うときわっこ”を目指して』

園では毎年、幼児の実態や教師の願いなどをもとに、研究テーマを決めています。今年度の研究テーマは“『みんなで』『みんなが』育ち合うときわっこ～異年齢児の関わり合いを深めるための環境構成と教師の援助を探る～”です。日々職員で話し合いをし、どのような遊びの種類や場所、行事、異年齢での交流の機会をもてばよいかなどを、検討しながら保育をしています。今回のときわっこ通信では、研究テーマに向かって育っている子どもたちの姿をお知らせします。

### 日々の生活の中で

3歳児  
初めは見慣れない年長児に緊張する様子も見られましたが、毎日毎日優しく関わってくれる姿から年長児に親しみをもつようになりました。

5歳児

今の幼稚園にどんな当番が必要かを全員で話し合い、『小さい組さん当番』することに決め、朝の準備や身の回りの手伝いに行きました。毎日の関わりの中で、泣いている時には目線を合わせ、優しく声を掛ける姿が見られるようになりました。



寂しいの?

幼稚園、楽しいから大丈夫だよ

靴を履いて出ようね



履かせてあげるね



お茶タイムだよ

### 交流の機会を設けて ～きらきらタイムを通して～

一緒にしよう!

またしたいな!

楽しいね



全園児

定期的に異年齢児と一緒にふれあい遊びや踊りなどをする『きらきらタイム』をしています。4・5歳児が「一緒にしよう」と3歳児を優しくリードし、互いに親しみを感じる時間となっています。“一緒に遊ぶのって楽しい”“またしたいな”という気持ちが日に日に強くなっています。

### “〇〇してあげたい” ～「お店屋さんに行ってみよう!」～

5歳児

毎日の当番活動や同じ場で遊ぶことで異年齢児が身近な存在となり、「小さい組さんにあげたい!」と折り紙やアクセサリを作ったり、ラーメン屋の开店準備をしたりしました。たくさんの“〇〇してあげたい”が子どもたちの中で増えています。

いらっしゃいませ!

ラーメン屋

ラーメン屋さんオープンしたよ!

何がいい?

おいしそう!



アクセサリ屋



4歳児

「ラーメン屋さんに来てください」と开店を知らせに来てくれる5歳児。その知らせを聞くとすぐに「行きたい!」と興味をもち、喜んで2階に行っています。毎日店屋に行く中で「お金がいるね」「財布もつくろう」と遊びに必要な物を作る姿が見られるようになっています。

### 七夕飾りの作り方を教えに行きました

5歳児→4歳児



できてるよ!

くっつけたら少し押さえておくんだよ



一緒にしようね

4歳児→3歳児



どの色にする?

この色がいい

七夕飾りの作り方を教えに行きました。5歳児は4歳児に輪飾りの作り方を、4歳児は3歳児に□や○の飾りをつないでいく作り方を教えに行きました。4歳児は5歳児に教わった飾り作りの中で、のりの使い方や次々につないでいくことを思い出しながら3歳児に教えに行きました。5歳児から優しく丁寧に教えてもらったことが、4歳児、3歳児へとつながっています。

### 大きい組さんってすごいな!

4歳児

石けんを泡立てる遊びが盛り上がっています。5歳児は水分量を調整し、本物のメレンゲのように作っています。4歳児は“あんな風にしたい”と憧れの気持ちをもつようになりました。4歳児担任が「どうやって作るの?」と子どもたちと一緒に尋ねました。5歳児が「水を、ちょっとにするんだよ」と教え、4歳児は“やってみよう!”とさらに遊びの意欲が高まっていました。日頃の遊びの中で、年長児への憧れの気持ちが育ち、“自分たちもあんな大きい組さんになりたい”という思いが芽生えています。

あんな泡にしたいなあ…

どうやって作るの?



水をちょっとにするんだよ

そうそう!いい感じ

日々の保育の中で、3、4歳児に対して「大きい組さん優しいね」「かっこいいね」などと教師が言葉にして伝えています。5歳児に対しては「喜んでいるね」「つき組やそら組のおかげだよ、ありがとう」などと年長児としての自覚をもったり、喜びを感じたりすることができるようにしています。“みんながみんなで育ち合ってほしい”と願い、日々の積み重ねを大切にする中で、互いに親しみをもち合うような子どもたちの姿へとつながっています。